

元気アップ 主体会

2018. 6 Vol.44

新しい医療機器を導入しました



もくじ

主体会病院・小山田記念温泉病院に 新しい医療機器を導入しました	1
地域住民に対する取り組みについて	2
第18回主体会リハビリテーション研究会を終えて	2
新任Dr紹介	3
新入職員紹介	4~5

健康への窓	5
SASの検査機器が導入されました	6
施設行事	6~7
部署紹介 小山田記念温泉病院 5B病棟	8
元気アップコーナー・編集後記	8

地域住民に対する取り組みについて

主体会病院総合リハビリテーションセンター

主体会病院総合リハビリテーションセンターでは、病院の理念でもある患者様に信頼され愛される病院を目指し、院内での患者様へのリハビリテーションの提供に加え、地域住民の方への情報発信にも力をいれて取り組んでおります。



発達段階に合わせた
スポーツ体験教室の取り組み



DANCE要素を取り入れた
介護予防教室の取り組み

このような活動を通し、地域住民の健康増進や子供たちの健やかな成長、住み慣れた地域で適切なリハビリテーションを提供できるようリハビリテーションスタッフ一同取り組んでおります。

第18回主体会リハビリテーション 研究会を終えて

第18回主体会リハビリテーション研究会が平成30年2月24日に開催されました。毎年開催される小山田記念温泉病院・主体会病院合同の研究会で、リハビリテーションスタッフ約140名が参加し、今年は6演題の研究発表と2症例の症例発表が行われました。私はその中の1演題として、「環境照度による重心動揺の変化」という研究を発表させて頂き、理事長賞を頂きました。患者様をはじめ、たくさんの方のご協力の下、研究をさせていただけることに感謝しております。研究を通じて得られた結果、知識を患者様に還元し、リハビリテーションを通じて少しでも患者様のお役に立てればと考えております。

(小山田記念温泉病院 理学療法士 服部順子)



主体会病院
院長

高瀬幸次郎



「10年ぶりに戻りました」

平成30年4月1日付けで、10年ぶりに主体会病院に復帰させていただきました。平成20年4月1日に三重県立総合医療センターに移動した際には、5年後には、戻ってまいりますとのことで転出しましたが、いろいろな諸事情があり、10年間も医療センターに勤めさせていただきました。

振り返りますと、10年間は長く感じられますが、主体会病院や小山田記念温泉病院と一緒に頑張った皆様に再会させていただきますと、昨日のように思い出され、非常に短く感じております。医療センター在職時には、病診連携により、主体会病院や小山田記念温泉病院、青山里会などの施設の皆様に非常に助けていただいたおかげで、高度先進医療を担う急性期病院として、県立総合医療センターが大いに活躍できたと痛感しています。この度、主体会病院に移りましたからには、北勢地区における私共の施設の役割をしっかりと認識し、私を含む団塊の世代が後期高齢者を迎える2025年に備え、国の方針を的確に見据え、私共の施設が、社会に大いに貢献するため職員一同、健康で楽しく、一丸となって活躍していくことを願って、赴任のあいさつとさせていただきます。皆様、よろしくお願い申し上げます。



主体会病院
内科
前田尚武

2018年4月より主体会病院内科に勤務しています。それまでの勤務先が慢性期の患者さんばかりを対象とするところでしたので、やや緊張しております。

来年5月には新しい年号に変わるということで、私も昭和・平成を経て3代を生きることになるのかといささか感慨深いものがあります。まさに『昭和は遠くなりけり』です。

しかし、患者さんの多くは昭和生まれで、なかには大正生まれの方もみえます。それだけ長生きをされてきたわけで、そういった方々の不安や苦痛を少しでも減らすことができると、こちらこそそろそろ高齢者と呼ばれる年齢になりつつあるなかで、頑張っていきたいとおもっております。よろしくお願い申し上げます。



小山田記念温泉病院
放射線科
田中 直

平成30年4月より小山田記念温泉病院放射線科に勤務させていただいております。平成3年に三重大学を卒業し、大学病院、山田赤十字病院などで勤務の後、平成10年から今春までの20年間は、伊賀市立上野総合市民病院にて画像診断全般、PET検査/検診および肝臓の治療を中心とするIVRに携わってきました。

当院および主体会病院では、理事長先生、院長先生以下諸先生方のご尽力により近々CT装置が最新機種に更新されますが、新装置では、冠動脈撮影に加えて大腸CT検査も可能になります。私は前任地にて大腸CT検査を1200例以上経験してきましたが、受けていただく方の身体的負担が軽く、また臨床の先生方のご要望に合う良い検査だと実感しております。当院導入後には、地域の先生方からの精査ご依頼にもお応えしたいと考えています。主体会病院中村先生のご指導の下、技師・看護師の皆さんと協力して、新装置および既設の3T-MRIを十二分に活用していただけるよう努めて参りますので、よろしくお願いいたします。

新入職員紹介

入社式 平成30年3月22日(木)



主体会病院 新入職員



小山田記念温泉病院 新入職員

服部 真里奈

作業療法士（主体会病院）

今春より、作業療法士として主体会病院で勤務させて頂く事になりました。

先輩方から多くの事を学ばせて頂き、1日でも早く皆様から信頼して頂けるよう日々精進していきたいと思っております。

身体の機能面だけでなく、見えない心の変化にも気付き患者様に寄り添える作業療法士になりたいと思います。

片山 雄一郎

理学療法士（小山田記念温泉病院）

今春より、理学療法士として小山田記念温泉病院で勤務させて頂くことになりました。学校生活を終え、目標であった理学療法士として働けることに喜びを感じております。

諸先輩方から知識や技術、社会人としての在り方を学び、患者様を第一に思うことができる理学療法士になれるように自覚と責任を持ち日々努力をしていきたいと思っております。

皆様のご指導のほどよろしくお願い致します。

堤 綾香

看護師（小山田記念温泉病院）

今春より、看護師として小山田記念温泉病院にて勤務させて頂くことになりました。

経験豊富な先輩方の元で、正しい知識と技術を学ばせていただき身に着け、向上させて行きたいと思えます。そしてその知識と技術を持って患者様とその家族に寄り添える看護師になれるよう、努めていきたいと思っております。

ご指導よろしくお願いします。

早川 諒

介護福祉士（介護老人保健施設みえ川村老健）

今春より、介護福祉士としてみえ川村老健で勤務させて頂くことになりました。

中学生の時から夢であった介護職員として勤務させて頂けることを嬉しく思います。

利用者さんが、毎日楽しいと思ってもらえるように笑顔を忘れず、心に寄り添える介護ができるよう一杯頑張っていきたいと思えます。

ご指導よろしくお願いします。



病気と遺伝

小山田記念温泉病院 小児科 登 勉

世の中には見えすぎたり、分かりすぎることで不都合を生じることが多々あります。しかし、細かいことがわかることで、医学・医療は大きく進歩してきました。これからの医療に影響するといわれている、ヒトの基本設計図が約10年前に分かりました。この設計図は、ATGCという四つの文字で書かれていますが、約30億の文字で書かれた設計図をゲノムと呼びます。われわれ

一人一人には、30億のうちの0.1%、300万、の違いがありますが、この違いが、例えば皮膚、目、そして髪の毛の色の違いを生んでいます。そして、病気になり易いことにも関係している場合があります。今後、研究が進むと、さらに詳しい関係が分かるようになり、ゲノムの違いを検査することで病気になる前から予防することができると期待されています。

施設行事

みえ川村老健

老健25周年記念

H30.3月29日



職員によるダンスやバイオリン・ピアノ演奏、美味しい料理でお祝いました。

鍋パーティ



毎年11月に各フロア別に、入所者様で食材の下準備をして頂き、昼食に鍋料理を食べて頂きます。



家族会

H27年7月より、年に6回ほど介護体験談や介護指導、社会資源ツアーなど話題豊富に、ご家族にむけて開催しています。



主体会病院に睡眠時無呼吸症候群 (SAS: サス) の精密検査機器が導入されました。



SASとは睡眠中に何度も呼吸が止まり、ぐっすり眠ることが出来ない病気です。いびきや起床時の頭痛、日中の強い眠気など様々な症状があり、放っておくと高血圧や心臓循環障害、脳血管障害、糖尿病などに陥る危険性があるといわれています。近年、居眠りによる交通事故が増加したことでテレビや新聞などでも多く取り上げられており、関心のある方も多いのではないのでしょうか。

SASは治療が必要な重症の方に限定しても300万人以上存在するといわれています。しかしながら治療者数はわずか40数万人程度と、多くの方が見過ごされています。SASは治療法が確立されており、適切に検査・治療を行えば決して怖い病気ではありません。その治療法は持続陽圧呼吸療法 (CPAP:シーバップ) といい、睡眠中に機械から送気を行うことによって、閉塞した気道を開通させ呼吸を促します。パートナーからのいびきの指摘、日中の眠気など気になる方は是非一度、当院で検査をしてみてください。なお、小山田記念温泉病院でもSASの簡易検査とCPAPが可能です。 主体会病院 臨床工学技士 阪田 修平

みえの郷

運動会 10月18日



個人対戦もチーム対戦も
がんばりました。

お菓子づくり

11月15日



クリスマス会

12月20日



クリスマスケーキを作りました。
イチゴもおいしかったです。



二色の「さつまいもきんとん」を
つくりました。栗も入れました。
とてもおいしくいただきました。

新年会 H30.1月16日



「福笑い」や「カルタ取り」に真剣に…。
とても楽しかったです。



豆まき

H30.2月14日



「鬼は外、福は内」。
今年もたくさん福がきますように。



部署紹介

小山田記念温泉病院 5B病棟

小山田記念温泉病院5B病棟は、昨年7月に回復期リハビリテーション病棟となり、1年を迎えます。当病棟では、急性期を脱し病態が安定してきた患者様に、症状に応じて様々なリハビリテーションを開始しています。

基本的には日常生活を行う上で必要な動作が行なえるように、運動機能、嚥下機能、高次脳機能等を改善させるリハビリテーションが中心となります。



セラピストによるリハビリの他にも、患者様個人の生活リズムに合わせて、病棟スタッフが自主訓練や、レクリエーション



活動、食堂において食前体操など行っております。

また起床、着替え、食事、入浴、排せつ動作の支援には病棟で早出・遅出の勤務形態をとって、対応しています。今後も、患者様が安心して退院、社会復帰できるように多職種が全力でとりくんでまいります。



主体会病院看護部 秋祭りバザー

主体会病院では、毎年11月に秋祭りを開催しています。その中で看護部では、平成28年からバザーを出店し、売上金を熊本地震の義援金として役立てていただいています。

バザーの品物は、看護部から他部門の職員にも依頼し、主にタオルや洗剤などの日用品、衣料品や雑貨などが集まりました。

バザーは9時から14時（完売した時点で終了）まで催し、外来患者様や入院中の患者様など、何度か足を運んでいただいた方もみえ



ました。品物が少なくなってくると、値段交渉をしたり、皆さん楽しそうに参加されていました。

平成28年は、売上金27,350円、寄付金3,824円の合計31,174円、平成29年は、募金箱を設置させていただき、売上額35,700円、募金額4,457円、合計40,157円を送金させていただきました。

今後も皆さんが楽しみにして頂いているバザーで義援金活動を継続出来れば良いと思っております。

主体会病院 本館看護主任 中村 麻紀

編集後記



強まる日差しに夏への移ろいを感じる季節となりました。梅雨も間近です。梅雨の花といえど何といても紫陽花ですね。雨に打たれながら物静かに咲いている姿は心を癒してくれます。「七変化」とも表現されるように、白赤紫青ピンクと色とりどりの花を咲かせる紫陽花。私たちにとってはうっとうしい季節ですが、道端に咲いている紫陽花に目を向けてみてはいかがでしょうか。（小山田記念温泉病院 栄養部 櫻本 瞳）